

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	防犯対策に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	11	
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	安全対策課			
施策	232防犯対策の促進	担当課室長	渡邊 忠明			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、既設防犯灯の修繕が必要となる際に、随時LED等への切替を実施していく。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	防犯灯維持管理費補助金、新設補助金の改定
②①に基づく取組み結果	防犯灯新設費の補助により、61灯の防犯灯を設置した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	○防犯灯補助事業:市内自治会等の防犯灯管理団体 ○防犯協会補助金:鎌ヶ谷市防犯協会	意図(対象をどうするのか)	○防犯灯補助事業:夜間の安全確保及び防犯活動の積極的な展開を図ることができる。 ○防犯協会補助事業:防犯協会による市域全体の防犯活動の充実を図ることができる。
②事務事業の概要	犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現のため、防犯灯補助事業や防犯協会に対する補助事業及び防犯カメラの適切な管理運用を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内の防犯灯や防犯パトロール隊の数は増加し、市内の犯罪発生件数の著しい増加は見られないが、今後も防犯対策を強化する上でも、市が積極的に関与する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	防犯灯の整備により、犯罪の起こりにくい環境が整備されると共に、市民が防犯協会と連携しながら、自主的な防犯活動が展開され防犯体制が整備された。 東中沢地区5台、東初富地区5台、道野辺中央地区5台、新鎌ヶ谷駅周辺地区2台の合計17台の防犯カメラの適正な管理運用を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	刑法犯認知件数	1,494	1,314	1,399	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	60,697	72,521	金額(千円)	内容	75,886		
国支出金(千円)	1,177	1,374	59,387	防犯灯維持管理費補助金	1,100		
県支出金(千円)	95	84	2,499	防犯灯新設事業費補助金			
市債その他(千円)			5,765	防犯協会補助金			
一般財源(千円)	59,425	71,063	1,691	通信運搬費	74,786		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	電気料金の値上がりに伴い防犯灯管理団体の負担が増加しており、負担軽減への対策を講じる必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	電気料金値上げへの対応や、省エネや環境に配慮した防犯灯のLED化促進が求められている。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	夜間防犯パトロール事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	11	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	安全対策課			
施策	232防犯対策の促進	担当課室長	渡邊 忠明			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	継続的に防犯体制の強化に努める。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	引き続き、青色パトロール車2台、2人1組の計4人により市内全域のパトロールを実施する。
②①に基づく取組み結果	青色パトロール車2台、2人1組の計4人により市内全域のパトロールを実施し、不審者を発見した場合は、警察へ通報した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内で発生している犯罪	意図(対象をどうするのか)	犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現を目指すため、犯罪の多い夜間にパトロールを実施することで、犯罪件数を減少させる
②事務事業の概要	青色パトロール車2台、2人1組の計4人により市内全域のパトロールを実施する。また、不審者を発見した際には、直ちに警察へ通報する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内の犯罪発生件数の著しい増加は見られなくなっているが、安全で安心な生活環境を確保するため、今後も犯罪が起きやすい夜間のパトロールを継続していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	青色パトロール車2台により、週5日間、1日7時間のパトロールを実施した。パトロール日数 260日、警察への通報件数 24件						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	刑法犯認知件数	1,494	1,314	1,399	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	7,214	8,883	金額(千円)	内容		11,154	
国支出金(千円)			8,883	夜間防犯パトロール委託			
県支出金(千円)	7,214	8,883					
市債その他(千円)							
一般財源(千円)						11,154	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	安全で安心な生活環境を確保するため、犯罪の起きやすい夜間のパトロールを継続していく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	安全で安心な生活環境を確保するため、夜間のパトロールを継続する必要がある					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	青色パトロール車2台、2人1組の計4人による市内全域のパトロール	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	青色パトロール車2台、2人1組の計4人による市内全域のパトロール	10,844	8,907	当初	10,844	8,883	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,937		
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					